

公益財団法人 福井原子力センター

原子力の科学館  
あっとほむ

福井県敦賀市吉河37-1

☎0120(69)1710

開館時間/9:00~17:00 休館日/年末年始

あっとほむ 検索

http://www.athome.tsuruga.fukui.jp/

# 消防のしごと

消防の仕事は、火を消すことだけではありません。消火、救助、救急、通信、予防・防災などがあります。

いろいろな災害から住民の命と財産を守る、消防の仕事を見てみましょう。

〈敦賀美方消防組合消防本部監修〉



## いろいろな消防車

### 消火

火災が発生したとき、消防車に乗って現場に向かい、消火に当たります。ポンプ隊員と呼ばれ、消防士になると誰もが一度はポンプ隊員として火事の現場へ行きます。

### 救助

火事や事故が起きたときに、救助が必要な人を助け出します。オレンジ色の服を着てレスキュー隊と呼ばれています。

### 救急

救急車に乗り、けがや病気の人を病院へ運びます。救急車には基本的には隊長、機関員、救急隊員の3人が乗っていて、救急救命士の資格を持った隊員もいます。

### 通信

119番の通報を受けて、素早く正確な情報を聞き出し、出動隊に指示を出します。災害発生時の司令塔となります。

### 予防・防災

建物の防火設備の安全確認や指導をしたり、地域や学校、会社などで防災の教育などの啓発をします。

消防士の活動には特殊な部隊もあります。空から消火や救助を行う「防災航空隊」、水難事故に当たる「水難救助隊」、山での救助活動を行う「山岳救助隊」、大規模な災害が起きたときに派遣される「緊急消防援助隊」、海外での大規模災害に派遣される「国際消防救助隊」などもあります。

### はしご車

大きなはしごが付いていて、高いビルの消火や逃げ遅れた人を助けます。はしごが40メートルの高さに届くものもあります。



### 救助工作車

レスキュー活動に使う車です。交通事故、水難事故、火災、自然災害など、救助を必要とする人がいるどんな場所でも活動できるように必要な道具や装備が付いています。

### ポンプ車

消火活動の中心となる車です。車両にはポンプが付いていて消火栓や防火水槽から水を吸い放水活動します。

消防ホースは1本20メートルあり、何本もつなげて水を送ります。ポンプ車1台に約30本のホースを積んでいます。全部つなぐと600メートルくらいになります。一般的なポンプ車は1分間に2000リットル以上の水が出せます。放水するときはとても大きな力がかかるので、狙った場所に水がかかるようしっかりと筒先を構えます。



### 指揮車

火災現場でいろいろな情報を集め、消火の作戦を立てて、ポンプ車、はしご車、救急車など、全ての車両に指示を与えます。

### 化学ポンプ車

ポンプ車には水槽付きのものなど、いろいろなタイプがあります。自動車の火災や燃料などを取り扱う施設での火災には化学ポンプ車が出動して、化学薬剤を使って消火します。泡が燃える物の表面を覆い、酸素を遮断して消火します。



運転席には消防署から現場へ向かうときに連絡できるような無線機やナビが付いています。



### 救急車

急病人やけが人を担架(ストレッチャー)に乗せて素早く病院へ運びます。屋根が高く、広くなっていて、いろいろな道具が装備されています。

### 防災航空隊

人命救助や消火活動、救急患者の搬送、災害応急対策活動などをします。

### 水難救助隊

海や川などで救助を必要とする人がいる場合に、潜水したり、ボートに引き上げるなどの救助活動を行います。

### 通信指令室

正面の大型画面で消防本部の全ての車両の状況を把握して、119番通報があると素早く状況を知り、すぐに消防車や救急車などに出動指令を出します。

## 火災通報から1分で出動し、5~10分で現場へ

消防隊員は、火災が発生した場合、少しでも早く現場に到着して消火活動に当たるため、日々、訓練と車両や資機材の点検をしています。消防本部の管轄区域内には、消防署や分署などが数カ所に分けて設けられていて、どこで火災が発生しても5~10分で消防車が到着できるようにしています。



消防士の勤務は24時間体制で組まれています。夜中の仮眠中でも昼間と同じ活動服を着ていて、出動の指令を受けると、活動服の上には防火服を着込んで消防車に乗り込んで出動しますが、その所要時間は約1分です。訓練には、火災現場を想定して、消火活動を行う「火災防ぎょ訓練」、現場で使用する資機材を取り扱う「資機材訓練」、レスキュー現場を想定して人を助ける「救助訓練」、心肺蘇生法など救急現場を想定した「救急訓練」、筋トレや持久走などで体力を養う「体力錬成訓練」などがあります。



## 消防と救急の連携

救急隊だけでは迅速な活動が困難な場合や、救命のために一刻を争う場合など、また119番通報を受信した指令係が、救急隊の活動を支援する必要があると判断した場合は、救急隊と消防隊が同時に出動し、連携して救急活動を行っています。



## 女性消防士も活躍中です!

消防士の地方公務員試験に合格した後、消防学校に入校。必要な知識・技術・規律などを学び、消防本部に配属されました。「人の命を守りたい」という強い気持ちが消防士にとって最も大切だと思っています。ぜひ、みなさんも消防士を目指してください。



2021年12月1日、敦賀美方消防組合消防本部と敦賀消防署が新庁舎に移転しました。

## 火災報知器のしくみ

火災報知器には、煙を感知するものと熱を感知するものの二種類あります。煙を感知する火災報知器は、煙の細かな粒子によって光がいろいろな方向に散乱することを利用して煙を感知しています。窓のように一方から目には見えない光(赤外線)を出しておきます。横の方には光を感じるセンサーが付いています。煙がないときは、光は真っすぐに進みますが、煙があると煙の粒子に当たった光が散乱して、センサーに光が届きます。センサーで光を感じると、煙があると判断して、警報音を鳴らすのです。もうひとつの熱感知式の火災報知器は、内部に温度センサーが入っていて、一定の温度以上になると、火災と判断して警報を鳴らします。寝室には「煙式」、台所には「熱式」が向いています。

